

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	江田島市						
地域内総人口（人）	23,637						
地域総面積（km ² ）	100.70						
地域の要件	半島	過疎					
地域の要件がその他の場合は具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	平成31年4月1日
終了年月日	令和6年3月31日
計画期間	5年

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		令和□□年度	令和6年度	令和▲▲年度	実績/目標
①総人口(人)					
排出量	事業系ごみ排出量(トン)				0%
	生活系ごみ排出量(トン)				0%
	1人1日当たりのごみ排出量(g/人日)	0	0	0	0%
	その他排出量(集団回収等)				0%
	総排出量(トン)	0	0	0	0%
再生利用量	1人1日当たりの排出量(g/人日)	0	0	0	0%
	総資源化量(トン)				0%
最終処分量	総排出量に占める総資源化量の割合(%)	0	0	0	
	埋立最終処分量(トン)				0%
エネルギー回収量	総排出量に占める埋立最終処分量の割合(%)	0	0	0	
	年間の発電電力量(MWH)				
特記事項	年間の熱利用量(GJ)				

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		平成29年度現状		令和6年度目標		令和6年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	9,796人	40.5%	13,694人	63.5%	10,145人	49.0%
	農業集落排水施設等	2,356人	9.8%	2,987人	13.9%	1,891人	9.1%
	合併処理浄化槽等	4,947人	20.5%	3,988人	18.5%	4,423人	21.4%
	小計：汚水衛生処理人口	17,099人	70.7%	20,669人	95.9%	16,459人	79.5%
	単独処理浄化槽等		0.0%		0.0%		0.0%
	非水洗化人口	7,074人	29.3%	887人	4.1%	4,250人	20.5%
	小計：未処理人口	7,074人	29.3%	887人	4.1%	4,250人	20.5%
	合計：総人口	24,173人	100.0%	21,556人	100.0%	20,709人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量						
	浄化槽汚泥量						
	合計	キロリットル		キロリットル		キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項	
イ. 一般廃棄物の再生利用量に関する事項	
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項	
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	
オ. 処理形態別人口に関する事項	
カ. し尿・汚泥の量に関する事項	
その他	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、住民の生活環境の改善及び保全を図るため、下水道認可区域外に浄化槽を設置する。

4 目標の達成状況に関する評価

<p>生活排水の処理 公共下水道については、目標値13,694人に対し、実績値は10,145人であり、目標を達成することができなかった。 農業集落排水施設等については、目標値2,987人に対し、実績値は1,891人であり、目標を達成することができなかった。 合併処理浄化槽については、目標値3,988人に対し、実績値は4,423人であり、目標を達成することができた。 合併処理浄化槽以外で目標を達成できなかった要因は、高齢者世帯で、水洗化の意欲が薄いことや経済的理由等で接続が困難な状況が増加したことが考えられる。 上記のことから、汚水衛生処理人口についても目標を達成することができなかった。</p> <p>非水洗化人口（未処理人口） 公共下水道及び農業集落排水施設等が目標を達成することができなかった。 この要因としては、公共下水道、農業集落排水施設等が目標を達成することができなかったためである。</p>

(都道府県知事の所見)

<p>循環型社会形成推進交付金の交付を受けている合併処理浄化槽等の指標については目標を達成しているが、公共下水道及び農業集落排水施設等の指標については目標未達であるため、大きな指標である汚水衛生処理人口の指標が目標未達となっている。 ついては、本原因の一つである水洗化の意欲を向上させるために、住民等への周知等を実施し、引き続き汚水衛生処理人口の向上に努めていただきたい。</p>

※令和6年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。